その情報、本当ですか？

進化する詐欺の手口

【問い合わせ先】危機管理課危機管理係
（☎42 - 9111 内線 1431）

近年、全国的に高額な詐欺被害が相次いでいます。今年５月には、桜井市内でも 60 代男性が SNS 型投資詐欺で約 6,300 万円をだまし取られる被害が発生しました。

今月は、皆さんの身近で起きている詐欺の実態や最新の手口を紹介し、被害を防ぐためのポイントを特集します。

「高齢者」「固定電話」は昔の話

近年、詐欺の傾向は劇的に変化しています。これまでは高齢者・固定電話が狙われていましたが、令和６年には詐欺被害者の半数以上が65歳未満になり、携帯電話への着信による被害も３割を超えるなど、犯人は電話の種類を問わず不特定多数の人に詐欺を仕掛けてきます。

また、手口も多様化しています。例えば「オレオレ詐欺」や「架空料金請求詐欺」は、実在する人物・企業・公的機関などを名乗ることで信じ込ませる手口です。

さらに、実在の投資家などを名乗り、ＳＮＳで投資を呼びかける「投資詐欺」や、ＳＮＳ上で親密な関係を構築し、その関係性を利用して金銭をだまし取る「ロマンス詐欺」も増えています。

１本の電話や１つのメッセージから誰もが被害に遭う可能性があるため、日ごろから注意が必要です。最新の手口を知り対策することで、詐欺被害に遭うリスクを減らしましょう。

▲奈良県警察安心・安全アプリ「ナポリス」で詐欺の最新の手口や対策を配信中

巧妙化する手口　～犯人は心理を巧みに操ってきます～

オレオレ詐欺

警察官や親族などを装って金銭をだまし取る詐欺。

【よくある被害の例】

警察官を名乗る人物から「あなたに逮捕状が出ている」と電話があり、「潔白を証明するために資産の操作が必要」と言われて、預金を犯人側の口座に振り込んでしまった。

> **⚠ 警察官を名乗る人物に注意**
>
> オレオレ詐欺の大半には警察官を名乗る人物が登場し、メッセージアプリのビデオ通話で警察手帳などを見せてきます。実際には、警察官がメッセージアプリで連絡を取ることは絶対にありません。

架空料金請求詐欺

実在しない未納料金などを口実に支払いを要求し、現金や電子マネーなどをだまし取る詐欺。

SNS 型投資詐欺

SNS を通じて投資話を持ちかけ、金銭をだまし取る詐欺。

【よくある被害の例】

著名な投資家の SNS アカウントをフォローするとメッセージが届き、投資家の集まるメッセージアプリのグループに誘導された。投資方法を教わり指示通りに暗号資産に投資したが、出金手続きができず、数千万円をだまし取られた。

SNS 型ロマンス詐欺

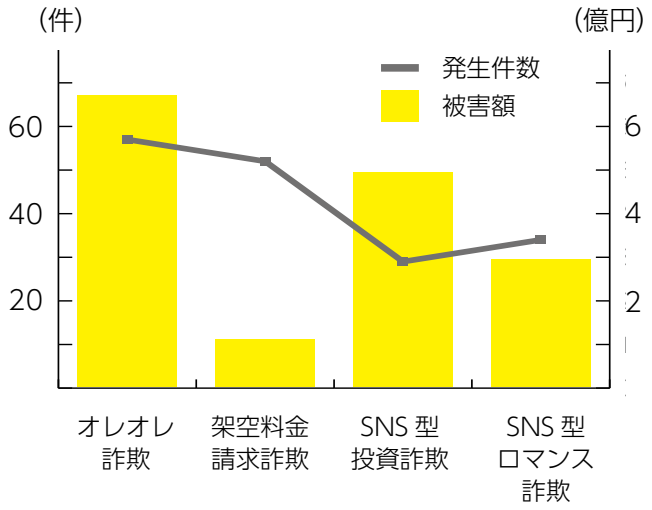
SNS を通じて親密な関係になり、恋心を利用して援助などを求め、金銭をだまし取る詐欺。

【よくある被害の例】

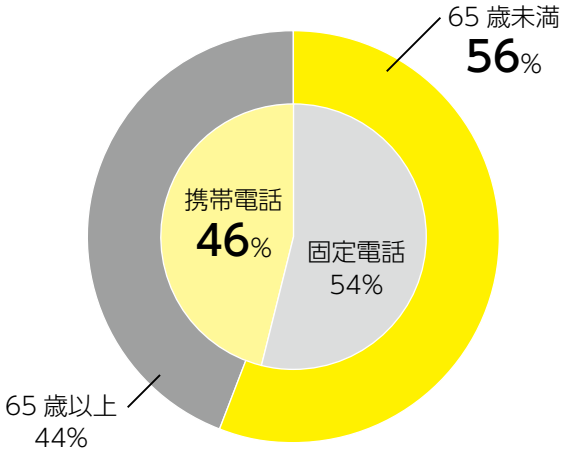
会員制交流アプリで「海外在住の医師」からフォローされ、メッセージのやりとりを開始。毎日やさしい言葉をかけられ信頼するようになった後「あなたに会いに行くが、入国手続きにお金が必要」と送金を依頼され、数十万円をだまし取られた。

統計で見る詐欺被害　～傾向は変化しています～

令和７年（５月末まで）に県内で発生した詐欺事件の件数と被害額（奈良県警察本部調べ・抜粋）



令和７年（５月末まで）に県内で発生した特殊詐欺の年齢・電話種類別割合（奈良県警察本部調べ）



被害を防ぐには　～不要な電話・サイトはブロック！～

電話による被害の対策

海外からの電話は取らない

電話を使用する手口の大半は海外からの電話です。固定電話は国際電話を無料で着信拒否できるサービスがあります。海外から電話がかかってくる予定のない人は活用しましょう。携帯電話は、通信会社の着信拒否サービスなどを利用しましょう。

【固定電話の国際電話休止申し込み先】
国際電話不取扱受付センター
（☎0120 - 210 - 364）

防犯電話の購入を補助しています

桜井市では、詐欺被害を未然に防止する防犯電話の購入費用を補助しています。申請方法や対象機種など、詳細は市ホームページへ。

詳細はこちら▲

SNS による被害の対策

金銭の話はまず「疑う」

「絶対にもうかる」「あなたに会うために交通費が必要」など、SNS で出会った人に金銭の話をされたら、まず詐欺を疑いましょう。

同様に「今だけのチャンス」「秘密にして」など、焦らせたり口外しないようにされたりする場合は、特に注意してください。

一人で判断しない

詐欺かもしれないと不安を感じた場合は、一人で判断せず、家族・友人・警察などに相談しましょう。

【警察への相談先】
警察相談専用ダイヤル（☎#9110）
桜井警察署（☎46 - 0110）

INTERVIEW

詐欺はチームで防ぎましょう

犯人は巧みに心理を誘導して金をだまし取ります。誰もが想像する高齢者・固定電話だけでなく、どのような人でも詐欺に遭う可能性があります。「電話・メッセージに反応した時点で相手の思うつぼ」と考えましょう。

詐欺被害に遭った人の中には途中で「詐欺かもしれない」と思いながら、最終的には犯人の言うことに説得力を感じ、金銭を渡してしまう人もいます。

一人で詐欺の誘導から抜け出すのはほぼ不可能です。心配な時には、家族・友人・警察など、誰でもいいので話しやすい人に相談してください。だまされることは、恥ずかしいことではありません。周囲の人たちで声を掛け合って、詐欺被害を防ぎましょう。

奈良県警察本部
生活安全部　生活安全企画課
犯罪抑止対策室
室長　港　淳平さん